

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

15:52

1/1

様式 8-1 (1/2)  
(第 2 2 1 3 8 報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2021 年 3 月 22 日 15 時 40 分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第 2 5 条 報 告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第 2 5 条第 2 項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2011 年 (平成 23 年) 3 月 1 1 日 16 時 36 分 (24 時間表示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条第 4 項第 4 号, 省令第 2 1 条第 1 項ロ)
発生事象と対応の概要 (注 2)	(対応日時, 対応の概要)  第 2 2 1 2 3 報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンク B に貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。  ・排水開始 : 10 時 10 分 ・排水終了 : 13 時 22 分 ・排水量 : 473 m <sup>3</sup>  排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。  【公表区分: E】
	※添付の有り (無し)
その他の事項の対応 (注 3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(注 1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注 3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

1/5

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

15:52

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22139報)

2021年3月22日 15時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第2.5条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及びび場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<p>・2月19日にお知らせした1、3号機原子炉格納容器内水位について、その後の状況をお知らせします。[3月22日11時00分現在]</p> <p>1号機: 現状の水位は、温度計T2 (T.P.+5, 964mm) と水位計L2 (T.P.+5, 664mm) の設置位置の間にある。(原子炉格納容器底部は T.P.+4, 744mm である)</p> <p>3号機: 現状の水位は、水位計L3 (T.P.+10, 064mm) と水位計L2 (T.P.+9, 264mm) の設置位置の間にある。(原子炉格納容器底部は T.P.+4, 044mm である)</p> <p>※原子炉格納容器内水位(圧力抑制室圧力の水頭圧換算による計算値): T.P.+9, 562mm (2月19日17時00分時点の計算値: T.P.+9, 623mm)</p> <p>※原子炉への注水は安定して継続実施中</p> <p>※原子炉圧力容器底部温度、格納容器ガス管理システムの放射能および敷地境界モニタリングポスト等に有意な変動なし</p> <p>なお、過去の注水停止試験において水位低下により格納容器圧力も低下しましたが、放射性物質の飛散などによる外部への影響がないことを確認しています。今後も水位低下が継続した場合、同様な事象が発生するものと思われませんが、慎重に監視してまいります。</p> <p>・プラント関連パラメータ [3月22日11時00分現在]</p> <p>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 3月21日]</p> <p>・構内排水路 分析結果 [採取日 3月21日]</p> <p>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 3月21日]</p> <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>【公表区分: その他】 ※添付の(有)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

4/5

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2021年3月22日 11:00現在

(留意事項)  
各計測器については、地震やその他の異常振動の影響を受けて、通常の使用範囲外条件を示しているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状態を把握するため、このような計測器の本値が必ずしも信頼したうえで、他の計測器から得られる情報を参照して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.4 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在)	給水系: 1.4 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.4 m <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在)	給水系: 1.4 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 壁部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 15.3 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.8 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.8 °C (3/22 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 19.7 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 20.2 °C (3/22 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 18.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 17.2 °C (3/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 14.8 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.8 °C (3/22 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 20.4 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 19.7 °C (3/22 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 19.2 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 16.8 °C (3/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.18 kPa g (3/22 11:00 現在)	4.52 kPa g (3/22 11:00 現在)	0.41 kPa g (3/22 11:00 現在)	
窒素系入流量 ※3	RPV (RVH+A): - Nm <sup>3</sup> /h (RVH+B): 15.57 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 15.04 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.83 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 6.96 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.37 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 8.70 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	19.2 m <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在)	17.89 Nm <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在)	17.53 Nm <sup>3</sup> /h (3/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水蒸気濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (3/22 11:00 現在)	A系: 0.05 vol% B系: 0.04 vol% (3/22 11:00 現在)	A系: 0.05 vol% B系: 0.04 vol% (3/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 7.00E-04 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.70E-04 B系: 指示値 7.90E-04 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.40E-04 (3/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (3/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (3/22 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	22.9 °C (3/22 11:00 現在)	22.0 °C (3/22 11:00 現在)	17.9 °C (3/22 11:00 現在)	※5 (3/22 11:00 現在)
FPC 燃料油 水位	4.77 m (3/22 11:00 現在)	3.08 m (3/22 11:00 現在)	3.90 m (3/22 11:00 現在)	67.3 x100mm (3/22 11:00 現在)

(計測値に関する補注)  
※1: 指示値がマイナスの場合は0.00 vol%と記載する。(水蒸気濃度が極めて低い場合は、計測値によりマイナス値を示される場合があるため)  
※2: 指示値がマイナスの場合は0.00 Ba/cm<sup>3</sup>と記載する。(放射能濃度が極めて低い場合は、計測値によりマイナス値を示される場合があるため)  
※3: 指示値がゼロの場合は0.00 Nm<sup>3</sup>/hと記載する。  
※4: 指示値がゼロの場合は0.00 Nm<sup>3</sup>/hと記載する。  
※5: 指示値がゼロの場合は0.00 °Cと記載する。

※4: 異常目入停止中  
※5: 4号機使用済燃料プールから格納容器へ一次系ポンプ停止使用中

04  
/5

2021年3月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2021/03/21 07:15	< 4.3E+00	< 3.9E+00	< 6.0E+00
プロセス主建屋北東	2021/03/21 07:10	< 4.3E+00	< 5.3E+00	< 3.5E+00
プロセス主建屋南東	2021/03/21 07:05	< 4.2E+00	< 3.9E+00	< 4.2E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2021/03/21 06:50	< 4.1E+00	< 5.5E+00	< 3.5E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2021/03/21 06:55	< 5.4E+00	< 7.6E+00	4.4E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2021/03/21 06:42	< 5.5E+00	< 6.0E+00	< 6.0E+00
サイトバンカ建屋南東	2021/03/21 07:00	< 4.7E+00	< 3.9E+00	< 4.5E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは、O.O×10<sup>±O</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/5

2021年3月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2021/03/21 07:10	9.5E+00	< 6.0E-01	7.0E+00
物揚場排水路	2021/03/21 07:16	< 3.0E+00	< 6.4E-01	8.6E-01
K排水路	2021/03/21 06:00	6.9E+00	< 5.5E-01	6.4E+00
BC排水路	2021/03/21 06:00	5.7E+00	< 4.5E-01	1.3E+00
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

- ・核種の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は27 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/5

2021年3月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果 <港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/03/21 07:50	—	< 6.5E-01	< 6.9E-01
1F 6号機取水口前	2021/03/21 07:40	1.4E+01	< 5.3E-01	< 6.2E-01
1F 物揚場前	2021/03/21 07:05	< 1.3E+01	< 6.3E-01	< 5.0E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2021/03/21 07:10	< 1.3E+01	< 4.9E-01	1.0E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (過水壁前)	2021/03/21 07:15	1.4E+01	< 5.4E-01	4.3E+00
1F 南放水口付近 (T-2)	2021/03/21 06:40	1.5E+01	< 5.3E-01	< 7.7E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/03/21 06:49	1.4E+01	< 4.6E-01	< 4.4E-01
1F 港湾中央	2021/03/21 06:44	< 1.3E+01	< 4.4E-01	< 5.4E-01
1F 港湾内東側	2021/03/21 06:46	< 1.4E+01	< 2.3E-01	5.2E-01
1F 港湾内西側	2021/03/21 06:42	< 1.4E+01	< 2.8E-01	5.1E-01
1F 港湾内北側	2021/03/21 06:40	< 1.4E+01	< 3.0E-01	< 2.8E-01
1F 港湾内南側	2021/03/21 06:52	< 1.4E+01	< 2.7E-01	< 3.3E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 <sup>*1</sup>			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期: Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)  
 ・不等号 (< : 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。  
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。  
 ・0.0E±0とは, 0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。  
 ・物揚場前は, シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。  
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

19:43

~~様式9-1(1/2)~~

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22140報)

2021年3月22日19時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第22120報他でお知らせしたとおり、5号機使用済燃料プール冷却浄化系の弁点検に伴う使用済燃料プール水位低下については、弁点検が終了したことから、使用済燃料プール水位をオーバーフロー水位付近に回復させ、異常のないことを確認しました。</p> <p>このことから、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第2編第55条に定める運転上の制限(使用済燃料プールの水位がオーバーフロー水位付近にあること)を満足したため、17時35分に特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第2編第74条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を解除しました。</p> <p>なお、点検終了に伴い、使用済み燃料プールの冷却も再開しています。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り  無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

19:43

1/1

~~様式9-1(1/2)~~

応急措置の概要(原子炉施設)

(第22141報)

2021年3月22日19時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 22129報でお知らせした、3月20日18時10分頃に発生した地震について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>・水処理関連設備について セシウム吸着装置、多核種除去設備については、本日までに運転を再開し、現場に異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：C続】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

21:40

41

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第22142報)

2021年3月22日21時30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第22049報でお知らせした1, 3号機原子炉格納容器の水位低下について、その後の状況についてお知らせします。</p> <p>2月18日に水位が低下傾向にあると判断して以降、水位計および関連パラメータについて慎重に監視を続けておりますが、1号機の原子炉格納容器内の水位は、緩やかな低下が続き、本日20時24分、水位計L2の設置位置を下回ったと判断しました。</p> <p>これに伴い、準備が整い次第、1号機の原子炉注水量を3.0m<sup>3</sup>/hから4.0m<sup>3</sup>/hに増やして注水します。</p> <p>また、本日20時37分現在、原子炉格納容器温度、原子炉圧力容器底部温度、原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度などのパラメータ、敷地境界モニタリングポストおよびダストモニタ、構内ダストモニタ等に有意な変動はなく、外部への影響がないことを確認しております。</p> <p>引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。</p> <p>【公表区分：未定】</p> <p>※添付の有り・<u>無し</u></p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

23:25

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第22143報)

2021年3月22日23時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第22142報でお知らせしたとおり、1号機の原子炉格納容器内の水位低下に伴い、本日22時42分、原子炉注水量を以下のとおり変更しました。</p> <p>&lt;原子炉注水量変更&gt; 1号機原子炉注水量 : 3.0m<sup>3</sup>/h→4.0m<sup>3</sup>/h</p> <p>また、本日22時50分現在、原子炉格納容器温度、原子炉圧力容器底部温度、原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度などのパラメータ、敷地境界モニタリングポストおよびダストモニタ、構内ダストモニタ等に有意な変動はなく、外部への影響がないことを確認しております。</p> <p>引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。</p> <p>【公表区分：未定】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。